



7
連
覇

酒類総合研究所(広島県東広島市)は17日、2018酒造年度(18年7月~19年6月)の日本酒の出来栄を競う「全国新酒鑑評会」の審査結果を発表した。本県は、特に優れていると評価された金賞酒に22銘柄が選ばれた。金賞銘柄数は都道府県別で最多となり、7年連続の「日本一」に輝いた。全国初の6年連続だった昨年度の快挙を塗り替え、新たな歴史を刻んだ。

全国から857点の出品があり、入賞は416点。このうち、金賞が237点。本県の入賞は31点だった。都道府県別の金賞銘柄数は秋田が18、兵庫が16、新潟が15、長野が14だった。

2001酒造年度以降の金賞受賞では、「奥の松」の東日本酒造協業組合(二本松市)が11年連続で県内最多の17度目。国権酒造(南会津町)が12年連続15度目。金水晶酒造店(福島市)名倉山酒造、鶴乃江酒造(会津若松市)豊國酒造(会津坂下町)が13度目の金賞を獲得した。

新酒鑑評会 22銘柄

金賞日本一



撮影協力 鈴善漆器店(会津若松市)

県産酒 金賞銘柄

- 金水晶
 - 寿々乃井
 - 廣戸川
 - 雪小町
 - さかみずき
 - あぶくま
 - 三春駒
 - 東豊国
 - 奥の松
 - 会津中将
 - 名倉山
- ▼金水晶酒造店(福島)
 - ▼寿々乃井酒造店(天栄)
 - ▼松崎酒造(天栄)
 - ▼渡辺酒造本店(郡山)
 - ▼たに川酒造(郡山)
 - ▼玄葉本店(田村)
 - ▼佐藤酒造(三春)
 - ▼豊國酒造(古殿)
 - ▼東日本酒造協業組合(二本松)
 - ▼鶴乃江酒造(会津若松)
 - ▼名倉山酒造(会津若松)

- 嘉永蔵大吟醸
 - 会津宮泉
 - 会津吉の川
 - 大吟醸きたのはな
 - 國権
 - 開當男山
 - 田島
 - 稲川
 - 榮四郎
 - 萬代芳
 - 學十郎
- ▼末廣酒造嘉永蔵(会津若松)
 - ▼宮泉銘醸(会津若松)
 - ▼吉の川酒造店(喜多方)
 - ▼喜多の華酒造場(喜多方)
 - ▼国権酒造(南会津)
 - ▼開當男山酒造(南会津)
 - ▼会津酒造(南会津)
 - ▼稲川酒造店(猪苗代)
 - ▼榮川酒造磐梯工場(磐梯)
 - ▼白井酒造店(会津美里)
 - ▼豊國酒造(会津坂下)